

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プリメーラ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年12月25日 ~ 2025年1月18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ~ 2025年2月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所独自に行っているサッカー療育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが常に楽しんで取り組めるようメニューの工夫をしている。 5領域からの視点を持ち、月ごとや学期ごとに方針の見直しを行っている。 子ども達1人1人に応じた療育方針を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> より専門的な知識を深めていき、療育の内容が日常生活に直結していると感じられるように取り組んでいく。
2	保護者の方との対面でのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ささいなことでも子どもたちの変化を見逃さず、保護者の方にも共有するよう職員間での意思統一を行っている。 一方的なコミュニケーションにならないよう常に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> 助言を求められたときにも即座に対応できるよう、様々な視点からの捉え方を学んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースの狭さ	<ul style="list-style-type: none"> 施設そのものの問題なので、現状改善は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の施設を利用するなどして、十分な広さで療育を実施できる機会を増やしていきます。
2	保護者の方とのコミュニケーションは多く取れているが、助言と言う部分に関しては少し物足りない	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識に関してやや不安のある職員もいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の研修を充実させ、専門的な知識を深めていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 プリメーラ放課後等デイサービス 野々上

公表日 2025年2月20日

利用児童数 2024年12月31日

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	6	0	1	室内サッカーをするにはもう少し広い方がいいと思う。	安全に療育や生活ができるように、国の基準に沿ってスペースを確保していますが、活動内容やその日の利用者数により狭く感じることがあるかもしれません。机や椅子を移動させるなど状況に応じた環境調整を行い、安全に活動していけるよう配慮して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	6	専門性に欠けている部分があると感じる時がある。	保育士などの専門家を配置しており、お客様の個々の特性に応じて専門的な知見を取り入れた療育を行っております。保護者の方にも連絡ノートや面談にてお伝えはしておりますが、分かりにくい部分もあるかもしれないため、分かりやすく丁寧に伝えていくこと、ご希望や疑問に思われることをこちらから汲み取りながら情報の共有を行って参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	2		現状の環境を維持しながら、さらに個人の特性や状況に応じて分かりやすい情報提示や、伝達の仕方を工夫し、支援の質を高めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	2		施設の衛生面については引き続き配慮を行いながら、安全に過ごせる環境設定に留意して参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	4	0	1	預かりに特化していると感じる時があります。	保育士や当社内の理学療法士と連携し、お客様の個々の特性に応じて専門的な立場で療育や支援を行っております。支援内容が分かりにくい部分があるかもしれませんので、保護者の方には日々の連絡ノートや送迎時、面談などにて分かりやすく丁寧に情報提供を行って参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	1	1		当施設が公表しているサッカー療育や専門家の立案したプログラムを通して、個人に合わせた支援計画と日々の療育を行っており、お客様や保護者にもご理解いただけるよう分かりやすく周知してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	3	0	4		6か月ごとに保護者様と面談、アセスメントを行いました事業所内でも支援会議モニタリングなどを定期的の実施して一人ひとりのお客様の特性に合わせた支援のための個別支援計画を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	3	0	4		今後もお客様一人ひとりの状態を適切に把握し、ご家族・お子様のニーズに寄り添える個別支援計画の作成に努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	3	0	1		日々の業務前にスタッフ間でお子様の状況の確認と、立案した計画の把握を行いお客様に寄り添った支援を行っております。

非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	2	1	1	当事業所の活動概要や行事予定などについては、定期通信やホームページ、SNSにて随時発信を行っております。業務に関する自己評価についてもホームページにて掲載し、必要な情報発信をしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	2	書類など個人情報に関するものについては、取り扱いに十分に留意し鍵付きの書庫にて厳重に管理しております。引き続き定期的な研修の参加やスタッフでの意識向上に努めてまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	9	各種マニュアルは策定し契約時に重要事項説明書を通し、個別に説明をさせていただいております。すべてのマニュアルについて理解していただけるよう情報の発信をしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	0	13	当施設では、非常災害に備えてのマニュアルを策定しており、そこに基づき地震・水害・不審者・火事を想定した避難訓練を行いました。今後も定期的に行い、緊急時に適切な対応ができるよう努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	8	日々安全にお子様の支援が行われるよう、BCPIに基づいた研修と訓練の実施をしております。
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	9	怪我等の事故が発生した場合には、状況を適切に把握したうえで事業所より速やかに連絡と状況のご説明を行っております。今後も研修等を行い迅速かつ適切な対応ができるよう心がけてまいります。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	3	0	0	多くの保護者様より、安心して通所頂けている旨をご回答いただきありがとうございます。お子様が個々の能力を安心して伸ばしていける場所として、定期的な研修などにも参加しスタッフ全員で安心できる環境作りに努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	1	0	どの放課後等デイサービスにも楽しんで行けないことがあります。お子様の状況に合わせてニーズをくみ取りながら楽しく通っていただけることと、適切な支援を行っていただけるよう職員間で共有し支援の質を高めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	5	0	1	施設の状況が変わる際などに、情報提供が少なく感じる場面がありました。子どもの現状に対する助言が増えると良いと感じます。貴重なご意見をいただきありがとうございます。活動内容や施設の状況が変わる際には、定期通信や連絡帳、お電話や送迎時に直接情報提供を行っており、今後もより分かりやすく丁寧にご説明と情報共有に努めてまいります。また、日々のお子様の状況についても細やかな変化を把握し、随時保護者様への共有と専門的な立場からの助言を行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	プリメーラ放課後等デイサービス	公表日	2025年2月18日
------	-----------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	安全面に考慮し、国の定めた基準に沿って適切なスペースの確保を行っています。	サッカーを含めた運動を行うため、活動スペースを外部で借りるなど、より広いスペースでの活動ができるように調整します。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	人員基準を遵守し、配置しています。	スタッフ数を増やし、勤務体制に余裕を持たせる方向で考えます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	子どもに分かりやすい情報提示や、安心して過ごせる環境作りを心掛けます。	職員の配置において、目の届く範囲に子どもたちがいる環境作りを徹底します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清掃・消毒は毎日実施。子どもには手洗い、消毒を徹底させます。	特に子どもたちが触る可能性のあるもの、場所については、毎日消毒を実施します。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	勉強スペース、面談スペースとして活用できる場所があり、そこで個別で利用が可能な状態です。	施設内でバーテーションを使い個別空間を作ろうとし、複数人が同時に個別空間で時間を過ごせる環境作りを行います。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	月2回、ミーティングを実施し、業務の洗い出しを行います。	改善目標に対して期日設定を行い進捗管理を行います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者との面談、電話、またSNSでコミュニケーションをとるようしており、保護者の意向については職員に共有します。	今後は保護者向けに定期的にアンケート取るなど検討します。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	月2回、ミーティングを実施し、業務の洗い出しを行うようにします。	改善目標に対して期日設定を行い進捗管理を行うようにします。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	未実施。但し、外部コンサルタントに見学に来て頂き、ディスカッションは実施しています。	今後検討します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部講師に研修をお願いしています。また大阪大谷大学、兵庫大学、などの先生と連携し授業に参加させて頂いています。	研修参加により現場の人員がタイトになることがあるので人数の配置を調整します。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	アセスメントを実施、個々の特性に応じた個別・集団療育を計画し、プログラム作りを検討・実施しています。	適切な支援かどうか、随時職員間で振り返りながら、より良い形でプログラムが作成していきます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントを実施、個々の特性に応じた個別・集団療育を計画し、検討・実施しています。	適切な計画かどうか、随時職員間で振り返りながら、より良い形で計画を作成します。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	アセスメントを実施、個々の特性に応じた個別・集団療育を計画し、検討・実施しています。	児童管を中心ミーティングを実施し、振り返るようになります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	始業前フリーフィング時に職員間で子どもたちの支援計画に基づき、より良いサポートができるように確認を実施しています。	終業時、また翌日のフリーフィング時に子どもたちの状況を共有するようにします。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	アセスメントを実施、個々の特性に応じた個別・集団療育を計画し、プログラム作りを検討・実施します。	終業時、また翌日のフリーフィング時に子どもたちの状況を共有するようにします。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	相談支援員の方、学校と連携し、情報交換を行なっています。	ただ、連携した中で、具体的な支援内容までは設定できていないので、今後は設定していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	療育担当を中心にプログラムの立案を行なっています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	サッカーだけでなく、リズムトレーニング、フットバック、等々外部と連携し、運動プログラムの立案を行なっています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	体を動かすだけでなく、スポーツを通して社会性についても働きかけるような支援を行なっています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	実施しています。	新しい職員がいる場合に利用者に対しての支援が疎かにならないようにようにサポートしていきます。
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	療育メンバー間では振り返りを実施しています。	職員全体で共有するようにします。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	検証・改善につなげています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	行なっています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	行なっています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	運動療育時には、考える力を養うためのプログラムを導入しています。	チャレンジしたが失敗した時のフォローについて、職員間で共有するようにしていきます。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	要請があれば、児童管や指導員が参加するようにし、他の施設の方と打合せさせていただきます。	打合せ内容を職員間でも共有するようにします。
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	連携の必要性を感じた利用者については、関係各所に働きかけを行なっています。	
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0	学校からの連絡については、保護者を通じて行なっています。下校時刻の確認、送迎時の対応などは学校側からは、保護者と連携するように依頼されています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	昨年まではできていなかったが、現在は既存の利用者出身の施設や新規の利用者の施設に児童管を中心に訪問し情報共有を行っています。	新規の利用予定者の現在の施設と利用者の情報共有と合わせて、当事業所の療育内容を伝える必要があります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	5	1	今後卒業生がいれば実施するようになります。	卒業生が現在までいないので、未実施。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	児相との情報共有は実施しています。	今後研修の機会を設けるようにします。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	子どもの特性があり、他の子ども達と交流することでトラブルが発生する可能性もあり、慎重に判断していきます。	未実施。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	案内があれば、参加させて頂いています。	引き続き参加させて頂くように致します。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に報告させて頂く事、日々の連絡帳、また、メール等において日常の子どもの状況を共有させていただいています。	保護者の方と子どもの特性に対しての共通理解を深めた上で支援を実施します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	定期的な面談の時やご相談があった場合に、個別に専門的な立場から家族支援を行っています。	全体での実施はないが、今後はご家族が参加できる形での研修や情報提供の機会を検討します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の面談の際に運営規定、支援プログラム、利用者負担等については個別に説明を行っており、ご質問や疑問点があればその都度対応しています。	これからも丁寧な説明と情報共有に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	日々の療育や送迎時、連絡帳や電話・メールでのやりとりの中で、子どもと保護者のご意見をいただく機会を設けており、その内容を踏まえて放課後等デイサービス提供の計画を作成します。	引き続き、ご希望や意見を丁寧に聞き取りながら必要な支援計画を作成します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容については面談の際に、放課後等デイサービス計画を示しながら個別に説明を行っており、保護者の同意のもと日々の支援を行っております。	これからも丁寧な説明と情報共有をしていけるように努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	専門的な立場から、子育てや日々のお子さんの状況に関するご相談については対応しており、必要に応じて助言を行っております。	引き続き保護者の方に必要性を確認し、必要な助言を行って参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	今後は保護者の方のニーズや生活状況も考慮しながらオンラインの保護者会や兄弟も含めた交流会などが開催できるよう検討しております。	今年度までは、感染拡大防止の観点より、保護者会等の開催ができない状況がありましたので、実施できておりません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	契約時に苦情担当者を明示し、保護者に理解をいただいた上で、迅速な対応を心掛けている。	今後も迅速かつ丁寧な対応に努め、職員全体で経緯分析・共有をして参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	当事業所の活動概要や行事予定などについては、定期通信やホームページ、SNSにて随時発信を行っております。	業務に関する自己評価についてもホームページにて掲載し、保護者や子どもに対して必要な情報発信をしております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	書類など個人情報に関するものについては、取り扱いに十分に留意し鍵付き書庫で管理しております。	引き続き、定期的に研修なども行いながら全職員が高い意識をもって情報に携わるよう努めてまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	個別の障害特性に合わせた意思疎通の方法(例えばホワイトボードを利用するなど)を取り入れ、職員全体に共有しスムーズな情報伝達を心掛けています。	現在は、情報伝達において支障はないが、他の施設などと情報共有し、当施設としてスキルアップして行きます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	今後は、保護者の意見も参考にしつつ、外部との交流の機会の必要性や企画について検討させて頂きます。	実施できていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルは策定し契約時に重要事項説明書を通し、個別に説明をさせていただいております。	引き続き、緊急時を想定した訓練の実施とともに、マニュアルや対応への周知と丁寧な情報の発信をしております。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画(BCP)を策定し、災害や非常事態に備えた避難訓練を実施しています。	引き続き職員・保護者・子どもとの情報共有と定期的な訓練の実施を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に保護者や医療機関より情報収集を行い、子どもの状況に応じた適切な対応について確認を行っております。	新しい職員には、都度共有する機会を設けます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食物アレルギーのある子どもについては、医師の指示のもと適切な対応を行っております。	新しい職員には、都度共有する機会を設けます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	日々の療育活動が安全に行われるように、安全計画を作成し、安全管理について必要な研修及び訓練のもと支援を実施しております。	継続して実施するように致します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に保護者に対して、子どもの安全確保のための安全計画と取り組み内容についてご説明を行っており、理解をいただいた上で支援を実施しております。	引き続き定期的な面談や日々の関わりの際にも安全管理について周知して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットが発生した場合は、指定用紙への記録と迅速に職員全体で共有し、再発防止に向けた対策についての話し合いを行い、より安全に支援が行えるよう取り組んでおります。	発生した時に話を行なっているが、新しい職員にも共有できる体制を作る必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	事業内外での研修に参加し、定期的な虐待防止に向けての意識向上を図っております。	継続して研修機会を確保するように致します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束については、放課後等デイサービス計画に記載し、契約時に説明と理解を得ております。	現状、身体拘束が必要な利用者がいないが、必要となる場面を想定して丁寧な説明を心掛けていきます。